

特別支援学級 学級活動（３）学習指導案

1 題材「夏休みのめあてを決めよう」

（３）ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

（１）児童の実態

略

（２）題材設定の理由

特別支援学校小学部学習指導要領特別活動には小学校学習指導要領に準ずると記されている。そこで本題材は、小学校学習指導要領特別活動学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容を取り扱う。

児童は自分のやりたいことややりたくないことかで行動しがちである。しかし、めあてを決めた活動に対しては意欲的に行動することが多い。挨拶を題材とした４月の生活目標に対する個人のめあてを決めた後は、今まで挨拶をしなかった児童が挨拶を継続して行うようになった。

昨年度実施したげんきキャンプは、６年生以外の全ての児童が初めての宿泊体験となった。初めて親元を離れる児童も多く、日常生活における諸活動を自分でする貴重な機会となった。これを機に一人で入浴ができるようになった児童もいた。そこで、げんきキャンプでの経験を家庭で生かし、実態に応じて自分のことを自分で行う、家庭の仕事を手伝うといった内容の目標を定めることで、成長を実感できる夏休みを送ることができると考え本題材を設定した。

3 研究主題との関わり

特別活動部会の研究主題、研究目標、研究仮説は以下のとおりである。

研究主題

「自主的、実践的に活動し、生きる力を身に付けた児童生徒の育成」
—主体的・対話的で深い学びの実現を通して—

研究目標

学級活動等の集団活動を通して自主的、実践的に取り組む態度を育成するとともに、育成すべき資質・能力を明確にし、新学習指導要領で重視される「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の在り方を探る。

研究仮説

- （１）学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、主体的に活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的、実践的態度が育つであろう。
- （２）学級活動等の集団活動において、課題の設定・確認、解決方法の話し合い、解決方法の決定、決められたことの実践、振り返りまでの一連の過程を「実践」と捉え、育成すべき資質・能力を明確にした上で意図的・計画的に指導に当たれば、深い学びにつながるだろう。

視点（１）児童生徒の自主的、実践的な活動に向けた学習課題の設定や学習過程の捉え方

本学級は過去に成功体験が少なく自己肯定感が低い児童が多い。そこで本題材では、自分の課題を見つけそれを解決していくためのめあてを決める学級活動（２）アやウではなく、なりたい自分を定めそれに向けて成長するためのめあてを決める学級活動（３）アとして設定する。そうすることで、昨年度無意識にでも成長できていた「成功体験」から今年度のめあてへの意欲を高めることができる。考える。「さぐる」の場面では、昨年度のげんきキャンプで成長した点を具体的に考えていく。具体例を挙げることによって成長をより実感でき、本時で考える頑張りたい姿をより詳細にイメージできるだろう。

知的学級の児童の中には、成長の実感が難しい児童も在籍している。そういった児童には「できた」「やった」といった簡単な言葉で自分はできているんだという感覚を味わせていきたい。

視点（２）対話的な学びを充実させる手立て

合意形成を図ったり、意思決定をしたりする話し合いの中で、様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりする活動の工夫

主に自・情の児童は、自分の意見をもつことに課題がある児童が多い。そこで次の２つの手立てを行う。

①「見つける」の場面での発問を複数用意する

②「決める」の場面で、めあてが決まった児童から発表を行う

①については、発問内容の理解の難しさや、発想の困難さ等児童によって異なる理由で考えることが難しいことに対する支援である。自分の考えやすい発問に対しての意見をもつことで、様々な意見が出ることを期待している。

②については、確実に意思決定を行うための支援である。自・情の児童には、教師の助言があってもなかなか意思決定できない児童も多い。そこで、すでに意思決定した友達の意見を参考にする、あるいは同じ目標をもつ形で自分のめあてを立てられることを期待したい。

主に知的の児童は、集中しての参加や内容の理解に課題のある児童が多い。そこで一度出た意見の内容の確認を一緒に行っていく。一度内容を確認することで、意見の発表時には理解できていなかった内容も、本人なりの形で理解できると考える。また、意思決定に関しては実態に応じて、教師の質問への受け答えから教師側が言語化することも視野に入れる。

４ 評価基準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての思 考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くこ とや学ぶことの意義を理解し、 自己実現を図るために必要な知 識や行動の仕方を身に付けてい る。	希望や目標をもつこと、働くこ とや学ぶことについての課題を 知り、解決方法などについて話 し合い、自分に合った解決方法 を意思決定して実践している。	現在および将来にわたってより よく生活するために、見通しを もったり振り返ったりしながら、 自己のよさを生かし、他者と 協働して、自己実現に向けて進 んで行動しようとしている。

5 事前の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○昨年度のげんきキャンプでやったことを振り返り、学校生活に生かされているものを探す。(1/2)	・写真とともに振り返ることで、活動したことを振り返りやすくする。 ・初めてしたことや、関連する経験を聞き、日常生活との関連を意識させる。	○昨年のげんきキャンプでの成長を思い出し、夏休みにむけての学習への見通しをもとうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察)
○げんきキャンプでやったことを、一人でできること、お家の手伝い、げんきキャンプでしかできないことに分類する。	・一人でできることを黄色、お家のお手伝いを赤、げんきキャンプでしかできないことを青で視覚的に分類する。	○一人でできることや、お家でできることがげんきキャンプで経験していたことに気付く。
○学習内容を事前に知る。	・前日に学習内容の概要を伝え、事前に案を整理できるようにする。	○本時に向けて考えを整理する。

6 本時の活動

(1) 本時のねらい

自分の身近自立や家庭の仕事の手伝いのめあてをもち、将来の自立への意欲をもって夏休みを送れるようにする。

(2) 本時の展開(2/2)

	児童の活動	指導上の留意点○と 個別の支援☆	資料	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 (つかむ)	1 前時で行ったげんきキャンプの振り返りを確認する。	○昨年度作成したげんきキャンプの掲示物を用いて思い出せるようにする。 ○掲示物を活用し、できるようになったこと、初めてやったことを再確認し、本時の活動への意欲を高める。	げんきキャンプの掲示	
	できることを ふやす なつやすみに しよう			
	2 前時で行った分類を確認する。 ・一人でできること ・おうちのお手伝い	○事前に出ていた意見は色付き短冊や写真等で用意し、分類しやすくする。		

展開1 (さぐる)	3 学校生活で生かされているものを確認する。 ・歯磨き ・着替え ・荷物の準備 ・調理実習 ・お弁当の手伝い ・配膳 4 一人でできると、おうちのお手伝いをする事は、共に保護者が喜ぶことであることを知る。	○保護者アンケートを取り、思いを実感できるようにする。 ○出来事を提示したの後に思いを想像させる。 ☆アンケート結果が保護者の「喜ぶ」ことか確認する。	アンケート結果のスライド	
展開2 (みつける)	5ー① 自分でできるようになれるとよいものは、どのようなものがあるか話し合う。 5ー② おうちのお手伝いでできそうなものは、どのようなものがあるか話し合う。	○げんきキャンプで行ったものを中心に話し合うが、他の意見も出てきたら取り入れる。 ○自分は既にできていることでも、友達が挑戦できそうなものなら挙げさせる。 ☆2つの発問を行い、考えやすい方を考えることができるようにする。		・げんきキャンプの経験から、どのようなことに挑戦できるか考えている。 【思考・判断・表現】 (発表)
終末 (決める)	6 自分の夏休みのめあてを決める。	○出された意見以外のものを考えてもよいことを伝える。 ☆友達の出した意見を選択肢の1つとして選べるようにする。		・夏休みのめあてを意思決定している。 【思考・判断・表現】 (発表)

7 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○夏休みのしおりにめあてを書く。	・本時の板書の写真をテレビに映し、確認できるようにする。	○夏休みのめあてを思い出す。
○夏休みに実践を行い、しおりに振り返りを記入する。	・保護者からのコメントをもらい、達成感を味わえるようにする。	○自分の成長を感じ、これからの生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (夏休みのしおり)

8 個別の実態

略

9 板書計画

できることを ふやす なつやすみに しよう。

つかむ		さぐる	みつける	きめる
ひとりで できること	おうちの おてつだい	学校ではどうだろう？	なつやすみにおうちでど んなことをがんばろう？	☐
・きがえ	・りょう	・そうじをまいにちが んばっている。	・りょうりをてつだう。	☐
・おふろ	り	・ひとりできがえてい る。	・ひとりでおふろにはい る。	☐
・ごはんを よそう	・おそう じ	・じぶんでにもつのじゅ んびをしている。	・りょこうのじゅんびを じぶんでする。	☐
・にもつの じゅんび	・		・まいにちひとりできが える。	☐
・	・			☐

適宜絵をかいて、イメ
ージをしやすくする。